

業務状況説明書

(令和2年4月1日から令和2年9月30日まで)

安城市水道事業

1 令和2年度上半期の状況

(1) 事業の概要

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して給水人口で148人(0.08%)の増加となっており、1日平均配水量は710m³の増加、有収水量は99,853m³の増加となっております。

区分	年度	令和2年度上半期	令和元年度上半期	比較	
				増減	増減率(%)
給水人口(人)		190,047	189,899	148	0.08
1日平均配水量(m ³)		56,893	56,181	712	1.27
有収水量(m ³)		10,025,583	9,925,730	99,853	1.01

イ 建設改良事業

- ・前年度から繰越した26件の工事のうち、北部浄水場5号ろ過機新設工事など25件が完了しました。
- ・市内に3箇所ある浄配水場で、地震防災施設緊急整備事業・浄水場施設整備事業にかかる工事を実施しています。
- ・市内各所で、下水道事業関連配水管布設事業・老朽管布設替事業・他事業関連配水管布設事業・給水申込みによる配水管布設事業などにかかる工事を実施しています。

(2) 経理の状況(税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

科目		予算額	執行額	執行率(%)
収入	事業収益	3,407,000	1,280,819	37.59
	営業収益	2,873,549	1,267,228	44.10
	営業外収益	533,449	13,521	2.53
	特別利益	2	70	3500.00
支出	事業費用	3,339,000	771,532	23.11
	営業費用	3,274,221	764,729	23.36
	営業外費用	62,269	6,285	10.09
	特別損失	2,410	518	21.49
	予備費	100	0	-

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

科目		予算額	執行額	執行率(%)
収入	資本的収入	426,000	61,571	14.45
	一般会計出資金	117,691	-	-
	他会計負担金	40,000	-	-
	工事負担金	203,199	61,571	30.30
	国県支出金	65,100	-	-
	固定資産売却代金	10	-	-
支出	資本的支出	2,482,000	731,685	29.48
	建設改良費	2,408,119	695,047	28.86
	企業債償還金	73,881	36,638	49.59

2 令和元年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事項	令和元年度	平成30年度	比較	
			増減	前年比(%)
総人口(A)	190,368 人	189,331 人	1,037 人	100.55
給水人口(B)	190,251 人	189,223 人	1,028 人	100.54
給水戸数	76,760 戸	75,397 戸	1,363 戸	101.81
普及率(A)／(B)	99.94 %	99.94 %	0.00 %	—
総配水量	20,419,892 m ³	20,399,345 m ³	20,547 m ³	100.10
1日平均配水量	55,792 m ³	55,889 m ³	-97 m ³	99.83
県水受水量	14,654,030 m ³	14,667,800 m ³	-13,770 m ³	99.91
自己水量	5,765,862 m ³	5,731,545 m ³	34,317 m ³	100.60
有収水量	19,588,464 m ³	19,584,542 m ³	3,922 m ³	100.02
有収率	95.93 %	96.01 %	-0.08 %	—
供給単価(1m ³ あたり)	141.53 円	141.34 円	0.19 円	100.13
給水原価(1m ³ あたり)	125.69 円	121.79 円	3.90 円	103.20

イ 建設改良事業

主な事業として、

- ・地震防災施設緊急整備事業では、北部浄水場場内配管耐震化工事や、重要管路整備工事(φ300～500、L=225.6m)を実施しました。
- ・下水道事業関連配水管布設事業では、箕輪福釜工区その1ほか6箇所(φ50～φ150、L=3,203.6m)を実施しました。
- ・他事業関連配水管布設事業では、里町地内ほか3箇所(φ50～φ150、L=930.4m)を実施しました。
- ・老朽管布設替事業では、錦町地内ほか6箇所(φ50～φ150、L=1,798.7m)を実施しました。
- ・浄水場施設整備事業では、北部浄水場4号ポンプと中部配水場受変電設備の更新などを実施しました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出(税抜)

令和元年度における事業収益は3,209,308千円で前年度と比較して1.01%(32,243千円)増加しました。これは、官公庁工事負担金や長期前受金戻入の増収があったことが主な要因です。

また、事業費用は、2,745,730千円で前年度と比較して3.54%(93,965千円)増加しました。これは県水受水費や支払利息の減額があったものの、水道メーター検針業務委託料の増額、減価償却費、資産減耗費等が増額したことによるものです。

こうしたことにより、純利益は前年度と比較して61,721千円減少し463,578千円となりました。

(単位:円)

科目		令和元年度	平成30年度	増減	前年比(%)
収入	事業収益	3,209,307,897	3,177,064,420	32,243,477	101.01
	営業収益	2,908,724,651	2,895,114,620	13,610,031	100.47
	営業外収益	300,567,766	281,867,420	18,700,346	106.63
	特別利益	15,480	82,380	-66,900	18.79
支出	事業費用	2,745,729,907	2,651,765,049	93,964,858	103.54
	営業費用	2,721,302,208	2,623,865,658	97,436,550	103.71
	営業外費用	23,749,114	26,852,661	-3,103,547	88.44
	特別損失	678,585	1,046,730	-368,145	64.83

イ 資本的収入及び支出(税込)

令和元年度における資本的収入は453,762千円、資本的支出は1,836,211千円で、差引き1,382,449千円の資金不足が生じたため、損益勘定留保資金等で補填しました。

主な事業では、北部浄水場場内配管耐震化工事や中部配水場受変電設備更新工事、重要管路における老朽管の布設替や耐震化、土地区画整理事業や下水道事業などと同調して配水管の布設を行いました。

(単位:円)

科目		令和元年度	平成30年度	増減	前年比(%)
収入	資本的収入	453,762,451	447,399,145	6,363,306	101.42
	一般会計出資金	163,960,527	174,756,880	-10,796,353	93.82
	他会計負担金	30,359,580	24,187,440	6,172,140	125.52
	工事負担金	232,442,344	248,454,825	-16,012,481	93.56
	国県支出金	27,000,000	50,000,000	-23,000,000	54.00
支出	資本的支出	1,836,211,177	2,503,726,072	-667,514,895	73.34
	建設改良費	1,732,148,925	1,967,616,620	-235,467,695	88.03
	投資	0	400,000,000	-400,000,000	0.00
	企業債償還金	104,062,252	136,109,452	-32,047,200	76.45